

2023年5月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年12月28日

上場会社名 株式会社ウェザーニューズ 上場取引所 東
 コード番号 4825 URL <https://jp.weathernews.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 草開 千仁
 問合せ先責任者 (役職名) IRマネージャー (氏名) 河合 茂 TEL 043-274-5536
 四半期報告書提出予定日 2023年1月12日 配当支払開始予定日 2023年1月25日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト及び機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2023年5月期第2四半期の連結業績（2022年6月1日～2022年11月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年5月期第2四半期	10,486	6.2	1,271	10.6	1,310	16.1	921	26.0
2022年5月期第2四半期	9,876	9.3	1,149	40.9	1,128	38.9	731	26.4

（注）包括利益 2023年5月期第2四半期 1,062百万円（38.7％） 2022年5月期第2四半期 766百万円（36.0％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年5月期第2四半期	83.73	83.51
2022年5月期第2四半期	66.59	66.41

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年5月期第2四半期	19,481	17,527	89.5
2022年5月期	19,127	16,843	87.6

（参考）自己資本 2023年5月期第2四半期 17,442百万円 2022年5月期 16,759百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年5月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2023年5月期	—	50.00	—	—	—
2023年5月期（予想）	—	—	—	50.00	100.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年5月期の連結業績予想（2022年6月1日～2023年5月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	6.9	3,200	10.2	3,300	7.7	2,400	11.3	217.90

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年5月期2Q	11,844,000株	2022年5月期	11,844,000株
② 期末自己株式数	2023年5月期2Q	820,051株	2022年5月期	841,720株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年5月期2Q	11,009,891株	2022年5月期2Q	10,983,695株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(4) 継続企業の前提に関する注記	13
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13
(6) 会計方針の変更	13
(7) セグメント情報等	13
(8) 収益認識関係	14
(9) 四半期連結損益計算書関係	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 経営環境及び概況

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、ロシア・ウクライナ情勢や物価上昇、金融引締めの影響で欧州を中心に前年同期比で景気が減速しました。一方、日本経済においては、個人消費などの内需を中心に前年同期比で緩やかな景気回復が続きました。

当社の売上面では、モバイル・インターネット気象事業において、大雨などによる気象災害の発生に伴い、人々の天気予報や防災への注目が高まりました。このような中で、積極的な広告投資を通じた認知度向上、予報精度の改善、独自コンテンツの充実を行うことでアプリ利用者数が増加し、サブスクリプションサービス売上及び広告収入が好調に推移しました。航海気象事業においては、港湾混雑は一部で改善の傾向が見られるものの荷動きは減少傾向を見せました。その一方で、為替によるプラス影響を受けたことで売上が増加しました。航空気象事業においては、エアライン市場における出入国制限の緩和及び国内の行動制限の解除の影響で、国内線及び国際線にて旅客者数が増加し、市況の回復傾向が継続しました。また、国内ヘリコプター市場での動態管理システムの拡販が進み売上が増加しました。その結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は10,486百万円（前年同期比6.2%増）となりました。

費用面では、ソフトウェア開発のインハウス化・アジャイル化に伴う開発体制の効率化によるソフトウェア開発費の最適化を継続しました。一方で、ソフトウェア開発能力の継続的強化及び新規事業に対する人財投資、並びにテレビCM及びネット広告等の積極的な広告投資を継続して行いました。また、開発・運用環境のクラウド化の進捗に伴い通信費が増加しました。

その結果、営業利益は1,271百万円（前年同期比10.6%増）、経常利益は1,310百万円（前年同期比16.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は921百万円（前年同期比26.0%増）となりました。

② 事業別の状況

<航海気象>

海運市場では港湾混雑に伴う滞船状況に一定の改善が見られたものの、前年同期の旺盛な貨物需要は弱まり荷動きは減少傾向となりました。当社においては欧州でのサービス提供数が減少した一方、日本を含むアジアではサービス提供数が増加したことに加えて為替のプラス影響もあり、航海気象事業全体では売上が増加しました。

<航空気象>

エアライン市場では出入国制限の緩和及び国内の全国旅行支援の実施等により緩やかな市況回復が見られ、当社においてはアジア顧客を中心に売上が増加しました。また、国内ヘリコプター市場では官公庁を中心に動態管理システムを拡販し、売上が増加しました。

<陸上気象>

国内の鉄道及び高速道路市況は人流回復に伴い緩やかな回復傾向を見せたものの、当社においては前期に発生した一時的な売上の反動減、及び一部顧客への売上の減少の影響が継続し、売上が減少しました。

<環境気象>

エネルギー市場では需要が増加する中で供給の不安定化に伴う燃料価格高騰が継続しました。当社においては新電力小売事業者等への拡販が進み、日本を中心に売上が増加しました。流通小売市場では新規及び既存顧客に対して新サービスであるウェザーニューズ for Businessの拡販が進み、売上が増加しました。

<スポーツ気象>

前期の大型スポーツ競技大会への気象情報提供に関する一時的な委託業務の反動により、売上が減少しました。

<気候テック>

自治体及び製造業向けに気候変動リスク分析サービスの拡販を進めました。

<モバイル・インターネット気象>

テレビCM放映やネット広告などの積極的な広告投資による認知度の向上によってアプリ利用者数が増加しました。また、日本国内において大雨などによる気象災害が発生する中、自社配信コンテンツの充実、アプリのUI/UXの継続的な改善などを通じてユーザーのアプリ満足度や活用度を向上させる各種取り組みを行った結果、

サブスクリプションサービス売上及び広告収入が増加しました。

<放送気象>

放送局向けシステムの更新サイクルの影響に伴う売上の減少、及び放送局の構造的変化によるコスト見直しの影響を受け、売上が減少しました。

事業区分 (Planning)	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日) (百万円)			当第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日) (百万円)			増減率 (%)
	SRS	トールゲート	合計	SRS	トールゲート	合計	合計
航海気象	1	2,598	2,599	1	2,809	2,810	8.1
航空気象	21	423	445	44	601	645	44.9
陸上気象	121	1,471	1,593	74	1,424	1,499	△5.9
環境気象	34	387	422	26	447	474	12.4
その他 BtoB	14	45	59	9	8	17	△70.3
BtoB事業計	193	4,926	5,120	156	5,291	5,447	6.4
モバイル・インターネット気象	7	3,550	3,558	14	3,937	3,951	11.1
放送気象	237	960	1,198	150	935	1,086	△9.3
BtoS事業計	245	4,511	4,756	165	4,872	5,038	5.9
合計	438	9,437	9,876	322	10,164	10,486	6.2

(参考) 地域別売上高

地域区分	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日) (百万円)			当第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日) (百万円)			増減率 (%)
	SRS	トールゲート	合計	SRS	トールゲート	合計	合計
日本	179	2,878	3,057	153	2,990	3,144	2.8
アジア	-	957	957	-	1,154	1,154	20.6
欧州	14	945	960	2	967	970	1.1
米州	-	145	145	-	178	178	22.5
BtoB事業 計	193	4,926	5,120	156	5,291	5,447	6.4
日本	245	4,135	4,381	165	4,460	4,626	5.6
アジア	-	374	374	-	412	412	10.1
欧州	-	0	0	-	-	-	-
米州	-	-	-	-	-	-	-
BtoS事業 計	245	4,511	4,756	165	4,872	5,038	5.9
合 計	438	9,437	9,876	322	10,164	10,486	6.2

(注) トールゲート：高速道路の料金所に例えた当社独自の事業形態。サービス提供の対価として継続的に発生する売上
SRS (Stage Requirement Settings)：将来のトールゲート売上につながる一時的な調査やシステム販売
BtoS事業：個人向け事業 (Sはサポーターの意) を指す

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、売掛金などの増加により、前連結会計年度末に比べて353百万円増加し、19,481百万円となりました。また、負債合計額は、未払法人税等などの減少により、前連結会計年度末に比べて329百万円減少し、1,954百万円となりました。純資産合計額は、前連結会計年度末の配当550百万円を行った一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益921百万円を計上したことなどにより、前連結会計年度末に比べて683百万円増加し、17,527百万円となりました。

以上により、自己資本比率は89.5%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等379百万円を支払う一方で、税金等調整前四半期純利益1,310百万円を計上したことなどにより、712百万円の収入（前年同期1,162百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産や無形固定資産の取得による支払などにより、101百万円の支出（前年同期152百万円の支出）となりました。

また、財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払などにより、548百万円の支出（前年同期548百万円の支出）となりました。

現金及び現金同等物に係る換算差額114百万円を加算し、現金及び現金同等物の当第2四半期末残高は11,599百万円（前年同期9,726百万円）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

売上面では、モバイル・インターネット気象事業の自社配信コンテンツの拡充によるサブスクリプションサービス売上及び広告収入の拡大による成長を見込んでいます。また、航海気象事業では沿岸部の座礁リスクに対応するサービスであるNAR(Navigation Assessment & Routeing)の拡販に加え、環境運航支援を目的とした新たなサービスの開発を進めています。航空気象事業ではエアライン市場において需要が緩やかに回復していくと見ており、国内ヘリコプター市場においても引き続き堅調に推移すると見込んでいます。

費用面では、モバイル・インターネット気象事業における積極的な広告投資、及び海外事業推進に関する投資の継続や、全社的なソフトウェア開発の効率化を一層推進します。

これらの結果により、2023年5月期は、売上高21,000百万円、営業利益3,200百万円、経常利益3,300百万円、親会社株主に帰属する当期純利益2,400百万円と期初計画を据え置いています。なお、今後の為替の動向や世界情勢を注視し、修正が必要と判断した場合には速やかに公表する予定です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,424,969	11,601,353
売掛金	2,612,174	2,893,461
契約資産	708,461	634,757
商品	—	2,822
仕掛品	44,993	91,413
貯蔵品	130,643	180,679
その他	407,489	486,040
貸倒引当金	△13,966	△12,820
流動資産合計	15,314,765	15,877,707
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	746,917	793,741
工具、器具及び備品(純額)	393,669	449,829
通信衛星設備(純額)	26,605	13,302
土地	413,062	413,062
建設仮勘定	77,026	10,203
その他(純額)	85,100	80,192
有形固定資産合計	1,742,381	1,760,332
無形固定資産		
ソフトウェア	757,386	619,043
ソフトウェア仮勘定	6,710	18,878
その他	27,055	28,694
無形固定資産合計	791,152	666,615
投資その他の資産		
投資有価証券	181,299	191,746
繰延税金資産	662,305	577,758
その他	466,760	439,855
貸倒引当金	△31,243	△32,709
投資その他の資産合計	1,279,122	1,176,650
固定資産合計	3,812,656	3,603,598
資産合計	19,127,421	19,481,305

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年5月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	91,426	133,387
未払金	293,087	236,762
未払法人税等	398,679	327,282
契約負債	163,128	120,217
その他	1,217,621	1,028,691
流動負債合計	2,163,943	1,846,341
固定負債		
資産除去債務	70,756	70,991
その他	48,790	36,691
固定負債合計	119,547	107,683
負債合計	2,283,490	1,954,024
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,706,500	1,706,500
資本剰余金	1,302,857	1,450,677
利益剰余金	14,527,595	14,899,374
自己株式	△907,062	△883,924
株主資本合計	16,629,890	17,172,628
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,707	17,961
為替換算調整勘定	119,001	252,359
その他の包括利益累計額合計	129,708	270,321
新株予約権	84,332	84,332
純資産合計	16,843,930	17,527,281
負債純資産合計	19,127,421	19,481,305

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

【第2四半期連結累計期間】

【四半期連結損益計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)
売上高	9,876,929	10,486,170
売上原価	5,535,232	5,850,551
売上総利益	4,341,696	4,635,619
販売費及び一般管理費	3,191,773	3,364,075
営業利益	1,149,922	1,271,543
営業外収益		
受取利息	247	506
受取配当金	500	500
受取家賃	8,237	—
為替差益	—	26,220
未払配当金除斥益	446	1,029
受取保険金	—	10,723
その他	4,380	13,947
営業外収益合計	13,811	52,928
営業外費用		
コミットメントライン関連費用	7,364	6,455
為替差損	26,939	—
保険解約損	—	7,599
その他	1,176	317
営業外費用合計	35,479	14,371
経常利益	1,128,254	1,310,100
特別損失		
減損損失	※1 78,800	—
関係会社清算損	※2 3,278	—
特別損失合計	82,078	—
税金等調整前四半期純利益	1,046,176	1,310,100
法人税、住民税及び事業税	280,648	306,400
法人税等調整額	34,102	81,806
法人税等合計	314,750	388,206
四半期純利益	731,425	921,893
親会社株主に帰属する四半期純利益	731,425	921,893

【四半期連結包括利益計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)
四半期純利益	731,425	921,893
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	291	7,254
為替換算調整勘定	34,305	133,357
その他の包括利益合計	34,597	140,612
四半期包括利益	766,023	1,062,505
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	766,023	1,062,505

【第2四半期連結会計期間】

【四半期連結損益計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2021年9月1日 至 2021年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)
売上高	4,889,158	5,261,049
売上原価	2,745,513	2,944,495
売上総利益	2,143,644	2,316,553
販売費及び一般管理費	1,519,822	1,517,177
営業利益	623,822	799,375
営業外収益		
受取利息	109	166
保険配当金	—	2,939
受取家賃	4,113	—
補助金収入	491	2,399
未払配当金除斥益	446	1,029
その他	1,092	3,007
営業外収益合計	6,253	9,542
営業外費用		
為替差損	14,231	21,830
コミットメントライン関連費用	3,662	2,751
その他	1,114	147
営業外費用合計	19,008	24,728
経常利益	611,067	784,189
特別損失		
減損損失	78,800	—
特別損失合計	78,800	—
税金等調整前四半期純利益	532,267	784,189
法人税、住民税及び事業税	169,007	181,571
法人税等調整額	△12,966	49,737
法人税等合計	156,040	231,308
四半期純利益	376,227	552,881
親会社株主に帰属する四半期純利益	376,227	552,881

【四半期連結包括利益計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2021年9月1日 至 2021年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)
四半期純利益	376,227	552,881
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,410	1,799
為替換算調整勘定	21,522	32,952
その他の包括利益合計	22,932	34,751
四半期包括利益	399,159	587,632
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	399,159	587,632

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,046,176	1,310,100
減価償却費	388,452	340,503
株式報酬費用	35,910	57,187
貸倒引当金の増減額(△は減少)	476	△1,156
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△959	—
受取利息及び受取配当金	△747	△1,006
受取保険金	—	△10,723
保険解約損益(△は益)	—	7,599
コミットメントライン関連費用	7,364	6,455
関係会社清算損益(△は益)	3,278	—
減損損失	78,800	—
売上債権の増減額(△は増加)	569,669	△261,178
契約資産の増減額(△は増加)	△448,329	73,703
棚卸資産の増減額(△は増加)	△14,560	△99,273
仕入債務の増減額(△は減少)	△36,163	40,969
未払金の増減額(△は減少)	△81,715	△40,598
未払消費税等の増減額(△は減少)	△137,378	△27,951
未払費用の増減額(△は減少)	△153,839	△207,415
前受金の増減額(△は減少)	60,784	43,688
契約負債の増減額(△は減少)	△30,569	△45,222
預り金の増減額(△は減少)	132,694	107,454
その他	239,876	△187,403
小計	1,659,221	1,105,729
利息及び配当金の受取額	737	978
保険金の受取額	—	10,723
コミットメントライン関連費用の支払額	△3,105	△25,072
法人税等の支払額	△494,295	△379,390
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,162,558	712,968
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	—	71
有形固定資産の取得による支出	△93,288	△215,695
無形固定資産の取得による支出	△126,957	△35,610
資産除去債務の履行による支出	△322	—
敷金及び保証金の差入による支出	△4,558	△685
敷金及び保証金の回収による収入	72,162	35,681
保険積立金の積立による支出	—	△10,401
保険積立金の解約による収入	—	125,040
投資活動によるキャッシュ・フロー	△152,964	△101,599
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△547,762	△548,737
自己株式の取得による支出	△319	△254
財務活動によるキャッシュ・フロー	△548,082	△548,991
現金及び現金同等物に係る換算差額	15,364	114,008
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	476,876	176,385
現金及び現金同等物の期首残高	9,249,147	11,422,943
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,726,023	11,599,329

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 会計方針の変更

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(7) セグメント情報等

当社及び連結子会社は気象情報を中心とした総合的なコンテンツ提供サービスを事業内容としており、当該事業の単一セグメントであります。そのため、セグメント情報については記載を省略しております。

(8) 収益認識関係

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期連結累計期間(自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)

(単位:千円)

		BtoB事業					BtoS事業		合計
		航海 気象	航空 気象	陸上 気象	環境 気象	その他	モバイル・インターネット気象	放送 気象	
一時点で移 転される財 又はサービ ス	SRS	800	2,050	6,971	6,295	—	1,936	75,971	94,024
	トール ゲート	—	—	—	—	—	—	—	—
計		800	2,050	6,971	6,295	—	1,936	75,971	94,024
一定の期間 にわたり移 転される財 又はサービ ス	SRS	281	19,807	114,765	28,084	14,758	5,638	161,572	344,907
	トール ゲート	2,598,636	423,868	1,471,464	387,668	45,223	3,550,579	960,556	9,437,997
計		2,598,917	443,675	1,586,229	415,752	59,981	3,556,217	1,122,129	9,782,904
顧客との契 約から生じ る収益	SRS	1,081	21,857	121,736	34,379	14,758	7,574	237,544	438,931
	トール ゲート	2,598,636	423,868	1,471,464	387,668	45,223	3,550,579	960,556	9,437,997
計		2,599,717	445,725	1,593,200	422,048	59,981	3,558,153	1,198,101	9,876,929
その他の収益		—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高		2,599,717	445,725	1,593,200	422,048	59,981	3,558,153	1,198,101	9,876,929

(注) 当社グループは継続的にコンテンツを提供するトールゲート型ビジネスを主に展開しております。一方、将来のトールゲート売上につながる一時的な調査やシステムを販売する機会があり、当社はこれらをSRS (Stage Requirement Settings) と称しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)

(単位:千円)

		BtoB事業					BtoS事業		合計
		航海 気象	航空 気象	陸上 気象	環境 気象	その他	モバイル・インターネット気象	放送 気象	
一時点で移 転される財 又はサービ ス	SRS	1,500	4,441	12,913	4,156	800	2,662	12,988	39,461
	トール ゲート	—	—	—	—	—	—	—	—
計		1,500	4,441	12,913	4,156	800	2,662	12,988	39,461
一定の期間 にわたり移 転される財 又はサービ ス	SRS	—	39,787	62,011	22,130	8,959	11,729	138,008	282,626
	トール ゲート	2,809,401	601,478	1,424,303	447,904	8,038	3,937,079	935,876	10,164,081
計		2,809,401	641,266	1,486,315	470,034	16,997	3,948,808	1,073,885	10,446,708
顧客との契 約から生じ る収益	SRS	1,500	44,229	74,924	26,286	9,759	14,391	150,997	322,088
	トール ゲート	2,809,401	601,478	1,424,303	447,904	8,038	3,937,079	935,876	10,164,081
計		2,810,901	645,707	1,499,228	474,190	17,797	3,951,471	1,086,873	10,486,170
その他の収益		—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高		2,810,901	645,707	1,499,228	474,190	17,797	3,951,471	1,086,873	10,486,170

(注) 当社グループは継続的にコンテンツを提供するトールゲート型ビジネスを主に展開しております。一方、将来のトールゲート売上につながる一時的な調査やシステムを販売する機会があり、当社はこれらをSRS (Stage Requirement Settings) と称しております。

(9) 四半期連結損益計算書関係

※1. 減損損失

前第2四半期連結累計期間(自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)

当社グループは以下の資産グループについて減損損失を計上しております。

場所	用途	種類	減損損失(千円)
日本	遊休資産	ソフトウェア	78,800
合計	—	—	78,800

当社グループは、事業用資産について、内部管理上、キャッシュ・フローを生み出す最小単位を基準として資産のグルーピングを行っております。また、遊休資産については個別資産ごとにグルーピングを行っております。

遊休資産について、ソフトウェアの開発計画の見直しに伴い、将来の使用見込みがないことから、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、回収可能価額は使用価値により測定しておりますが、使用見込期間が短期であるため、割引率は考慮しておりません。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)

該当事項はありません。

※2. 関係会社清算損

前第2四半期連結累計期間(自 2021年6月1日 至 2021年11月30日)

四半期連結損益計算書に計上されている関係会社清算損は、連結子会社であるWeathernews Nepal Pvt. Ltd. の清算に伴う損失であります。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年6月1日 至 2022年11月30日)

該当事項はありません。